



3月9日 実(巳)を結ぶ春 新たな道に進む70名



発行所
和歌山県立きのくに青雲
高等学校 (通信制課程)
和歌山市吹上 5-6-8
TEL 073-422-8402
FAX 073-422-4045

令和六年度 第十一回卒業証書授与式



校長 宮本 裕司

今年はずいぶん寒い日が多く、ひととき春が待ち遠しい冬を過ごしてきましたが、ようやく新しい命の息吹を感じ始める今日ここに、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜るとともに、保護者の皆様のご出席のもと、和歌山県立きのくに青雲高等学校通信制課程卒業証書授与式を盛大に挙行できますことは、卒業生はもとより、私ども教職員にとりまして、この上ない喜びとするところであります。

ただ今、卒業証書を授与しました70名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にとりまして、お子様の成長を前に、喜びもひとしおのことと推察いたします。

卒業生の皆さんは今、きのくに青雲高校で学んだ時間やそれ以前の思い悩んでいた時期も併せて思い出していただくでしょう。自学自習を基本とする通信制の学習スタイルに期待と不安を抱いて本校に入学してからの高校生活、一人で勉強する方法がわからず、ポート作成に行き詰まったこと、仕事やアルバイト、あるいは家事

や育児等に疲れてしまいスクリーニングに登校することが億劫になったこと、単位修得のためのテストに悪戦苦闘したこと、卒業を諦めかけたことも幾度とあったことと思います。その都度、苦しみを克服し、壁を乗り越えた結果が今日の卒業につながっています。皆さん自身、心身共に大きく成長できたという自覚があるのではないのでしょうか。

卒業生の皆さんはこの後、就職あるいは進学し、社会の荒波の中で生きていくこととなります。困難を恐れず、夢に向かって突き進み、多くの出逢いとチャンスを掴んでください。良き人との出会いは自らの力となり財産となるでしょう。

また、忘れてはならないことは感謝の気持ちです。今の自分があるのは家族や友人など多くの方々への感謝の気持ちからです。その方々への感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で伝えてみてください。さて、世界は今、紛争や天災、経済や環境問題など大きな課題が山積しています。さらにICT技術やAIの進歩・発展により変化の先を予測することが困難な時代になってきており、新しい発想と価値観の変化に対応できる力が求められます。しかし、恐れることはありません。自分の夢の実現に向け、前に進むとうる意思と失敗を認め、失敗から学び、今後に活かしていく姿勢があれば道は開

きます。私はそう信じています。皆さんの卒業にあたりはなむけとして「夢想成真」という言葉を贈りたいと思います。「どんな困難な夢でも、思い続けて努力すれば必ず実現する」という意味です。困難や挫折を克服した皆さんはこの経験を次のステージにも生かし、自分の夢の実現につなげてください。

夢といえは、昨シーズンにおいてアメリカの野球界で数々の記録を塗り替えたドジャースの大谷翔平選手について3つの有名なノートの話があることを知っていますか。

一つ目は小学3年生から3年間、父親との交換日記だった「野球ノート」は日々の振り返りと改善点を記したもので、次に高校時代に書いた「夢ノート」は縦横9つの計81マスの真ん中に達成したい目標を書き、その周りには達成のための要素を書き込んだもの。最後に18歳から70歳までの計画が書かれた「人生設計ノート」です。

目標を明確に持ち、それを文字にし、そしてそれを実現するための努力をする。このプロセスを地道に実行したことにより現在の大谷選手があるのです。どうか皆さんも無限の可能性を信じ、自分の夢を達成するため、人生を謳歌してください。

結びになりますが、本校の教育にご理解とご協力をいただきました保護者の皆様には、この場をお借りし、心からお礼を申し上げます。卒業生の皆さん一人一人が自身自身の未来に向けて力強く立ち、その前途が洋々たる事を願って式辞といたします。

教育委員会長ご挨拶

開花を待つ桜の蕾に、春の訪れが感じられる今日、卒業式を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。

今、皆さんの心には、友だちと笑いあい、励ましあい、切磋琢磨しながら過ごした青春の日々が、次々と浮かんでいるのではないのでしょうか。また、御家族や先生方をはじめ、皆さんの高校生活を応援してくださった方々への感謝の気持ちが、湧き上がっていることと思います。様々な悩みや苦勞を乗り越えて、この日を迎えられた方もいるでしょう。ここでの出会いや経験を糧にたくましく成長し、新たなステージへの第一歩を踏み出そうとしている皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

さて、皆さんが高校生活を過ごした期間は、日本にとっても世界にとっても転換期となりました。長きにわたるコロナ禍がようやく収束し、日常が新たな形で戻ってきました。

昨年の夏には、パリ2024オリンピック・パラリンピックが盛大に開催され、アフターコロナを象徴する大会となりました。試合の勝敗やメダルの獲得以外にも、戦争の脅威や困難な練習環境下で参加した国、困難を乗り越えて参加した選手など、様々なことが報道され、「平和とは」「公正とは」「多様性とは」など、今、私たちが生きている世界について、広い視野をもつて考える機会となりました。とりわけ印象的だったのが、スケートボード競技の選手たちです。ライバルの成功を喜び、互いに健闘を讃えあう姿が話題となりました。志を

同じくする仲間が存在は、相乗作用をもたらし、時に大きなエネルギーとなります。

昨年、新紙幣の肖像として採用された津田梅子氏は、次の言葉を残しています。

「高い志と熱意を持ち、少数だけでなく、より多くの人々との共感を持ってれば、どんなに弱い者でも事を成し遂げることができる。」

物事を成し遂げるためには、「高い目標」「一生懸命取り組む熱意」、そして、何より「多くの仲間との協働」が必要です。人が一人で成し遂げられることはそれほど多くありません。多くの協力者がいることが、物事へ向かう原動力や支えとなります。

人生は、孤独な旅ではありません。これまで出会った仲間、そして、これから出会うであろう仲間を大切に、様々な人と協働しながら、自分の目標に向かって邁進していきましょう。

結びに、今日まで、お子様の健全やかな成長を、深い愛情をもって見守ってこられた保護者の皆様に、心からお祝い申し上げます。同時に、同窓会や振興会、地域の方々の御支援、学

送 辞



在校生代表

やわらかな日差しが目に増し、春らしさを感じられる季節となりました。このよき日に、きのくに青雲高等学校通信制課程を卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、卒業を迎えられる皆様はたくさんのお祝いが出が詰まった高校生活を思い出すとともに、新生活への夢や希望を胸に卒業証書に託されたことと思います。全日制や定時制とは異なる通信制という新たな環境で、またそれぞれが様々な思いや複雑な事情を抱えながらも、自らの決断を信じて、絶え間ない努力をし、困難を乗り越えてきたからこそ、今日この場に立っていると思います。卒業生の皆様にとっては当たり前に行ってきたことかもしれませんが、それがいかに困難なことであるかは卒業生の皆様に通ってきた道を進んでいる私たちにはよくわかります。だからこそ、卒業生の皆様のそのためまぬ努力を在校生として心から深く尊敬します。

さて、卒業を迎えられる皆様は、このきのくに青雲高等学校の生徒として過ごしてきた日々をどのように振り返っていらっしやるでしょうか。卒業生の皆様と過ごした時間

は、私たちが在校生にとってもかけがえのない時間であり、振り返ってみると、色々な思い出がよみがえってきます。

生活体験発表大会では、先輩方の発表を通じて自分とは異なる考え方に驚き、感動し、大いに励まされ、様々な視点からのもの見方や価値観を学ばせていただきました。体育祭では、名前も知らない同級生と協力し合って、各学年が優勝を目指して共に汗を流し、普段交流の少ない先輩・後輩同士で笑い合い、お互いをたたえあいました。文化祭では、新型コロナウイルスの影響で制限されていた半日開催から、令和元年以来の一日開催となりました。今年から復活した模擬店の企画や準備を各学年が一丸となって全力で取り組み、当日には、たくさんのお店が並び、色々な所から楽しそうな笑い声が聞こえてくるほど賑わいをみせました。展示鑑賞のために飾られた作品を通じて繊細な心に触れ、感心させられたりしました。生徒会主催のビンゴゲームでも大きな盛り上がりを見せ、学校全体で本当に充実した時間となりました。また、私自身も生徒会の一員としていろいろな行事の運営に携わりましたが、卒業生の皆様の努力をする姿勢やリーダーシップを発揮してくださるのを見させていただき、とても心強かったです。すべてが今では大切な思い出となっています。

これらの皆様と過ごした時間は、私たちにとても宝物であり、次の世代にもこの宝物をつないでいけるようにしていきたいと思えます。これから、皆様はそれぞれ新たな



道に進んでいけることと思えます。時には険しく、くじけそうになったり、不安になったりすることもありますが、そんな時は、本校のことを思い出してください。本校で今まで積み上げてきた努力や本校で培った強い精神力と頑張ってきた自分自身を信じて進んでください。そうすれば、きっとどんな困難も乗り越えられると、私は信じています。そして、本日卒業される皆様に、この場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆様と一緒に過ごした日々はとても楽しかったです。きっと自分の高校生活を振り返った時、このきのくに青雲高等学校で皆様と過ごした時間を思い出したいと思います。本当にありがとうございました。また会える日を楽しみにしています。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。送辞とさせていただきます。

答 辞



卒業生代表

かつてないほど記録に残る大雪に見舞われた厳しい寒さの冬も過ぎ去り、柔らかな光に春の訪れを感じられる季節となりました。

本日、私たち70名は卒業の日を迎えました。先生方、在校生の皆様、私たち卒業生のために、このように盛大な卒業式を挙げていただきありがとうございます。

ご来賓の皆様、保護者の皆様、本日はご多用の中ご臨席いただきましたこと、卒業生を代表し心より厚く御礼申し上げます。

今振り返ると、きのくに青雲高等学校通信制課程の日々はあつという間で、私にとってはたくさんのごとに挑戦した3年間でした。

私は、3年前の令和4年4月に本校に入学しました。中高一貫校の県立中学校に通っていましたが、中学3年生の秋になって、中学生なのに早くも大学進学のプロレシヤに追われる毎日に疲れきって登校できなくなっていました。普通に頑張っていたら中高一貫の高校に進学できたのですが、同じ環境の中で頑張れる気がせず、通信制課程があるきのくに青雲高校に進学するという選択をしました。当時は、「苦労して中学受験を乗り越えたのに」と、家族や周りの人からも冷たい目で見られましたし、登校できなくなった自分にも腹が立ち、人生で初めて大

きな挫折を経験しました。

通信制課程を選んだのは欠席日数に左右されず、高校卒業の資格を取ることができると思ったからです。環境を変えたことで新しいことにチャレンジしたい気持ちが湧き、1年生では、髪を染めてみたり、アルバイトも始めました。生徒会執行部にも入りま

した。 自学自習が通信制課程の大きな特徴ですが、通信制の学習システムは、以前通っていた学校とは違って自分のペースで進められるというメリットがあり、規定回数のスクリーニングやリポートを満たすことで学習が進み、単位テストに合格するたびに達成感も得られました。入学してすぐに新たな友人とも出会いました。行事に参加するたびに友達が増えました。そんな友人達が私の学校生活をより充実したものにしてくれました。

2年生になって、私は生徒会副会長を任せられ、生徒会活動に積極的に参加するようになりました。進路についても「大学進学」という目標をもちました。また通信制ならではの平日の空いた日を利用して、アルバイトで貯めたお金で友人と東京、北海道、福岡と3回ほど旅行に行くなど、学業とアルバイトとプライベートを充実させることができた1年でした。

3年生になり、生徒会長に選ばれました。生徒会長として生徒の前に立つて話すことも多くなり、何度経験しても人前で話すのは緊張しますが、いい経験ができていくと感じました。また生徒会執行部では、今まで意見を出す側だったのが意見をまとめる側となり、なかなか思うように進まず苦戦することも多かったで

すが、生徒会執行部の仲間たちや先生方に恵まれ様々な行事に取り組みることができました。今年一番印象に残っているのは、文化祭での〇×ビンゴゲームの企画です。自分たちで一から作り上げた企画で、文化祭当日は想像以上に盛り上がり、満足感を感じられました。

さらに、3年生では私の人生がかった大きな挑戦がありました。それは「看護大学の受験」です。入学試験でプレゼンテーションの課題があったのですが、夏から秋にかけて、たくさん先生方にご指導いただきながら、将来への想いを込めたプレゼンテーションを作り上げることで、何度も何度も発表の練習をしました。入試の日まで、家族や友人だけでなく、様々な周囲の方々にも応援していただき感謝の気持ちでいっぱいです。4月から看護大学に進学し、しっかりと学んだうえで、看護師の資格を取得したいと思っています。そして将来は和歌山県の地域医療に貢献したいと考えています。

私は高校生活3年間で「挑戦」することの大切さを学びました。自分から積極的に行動し、その過程でたくさんの人と出会うことで、「自然体の自分」で関わっていけばよいということに気づきました。

在校生の皆さん、高校生の今でしかないこと、通信制高校だからできることに挑戦してみてください。大事なことは、挑戦するために一歩踏み出す勇気をもつことです。今、やりたいことがない人もいれば、失敗を恐れて勇気が出ない人もいます。しかし、「失敗は成功のもと」ということわざがあるように、失敗しても諦めずに原因を突き詰めていけば、成功に繋がられるはずで

す。一度きりの人生、周りに流されることなく自分の道を見つけて、後悔しないようにたくさん挑戦していつてほしいです。まずは小さな一歩から踏み出した勇気が自信につながり、将来大きな挑戦をするときに生きてくるでしょう。皆さんが高校生活を終える時、高校生活が楽しかったと思えるよう一瞬一瞬を大切に有意義な高校生活を送ってください。よう、遠くから応援しています。

本日、私たちは一つの大きな節目を迎え、新しい世界へと進むスタートラインに立っています。その先には大きな壁にぶつかることや、重なる選択に迫られることもあると思います。しかしそれらを乗り越えることで、人はより強くなれると思います。きのくに青雲高校通信制課程で積み重ねた力は、これから先も必ず役に立つと確信しています。幾多の逆境を乗り越え、いつか過去を振り返ったとき、自分の選択した道が正しかったと思える日が来ると信じています。

最後になりましたが、今日まで温かくご指導いただきました先生方、私たちを支えてくれた家族、切磋琢磨し合い努力を重ねた友人たちに心より感謝申し上げます。きのくに青雲高等学校のさらなるご発展を祈念し、答辞といたします。

卒業生代表



卒業生代表

卒業生の皆さんへ

教頭 有本 洋

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私自身、本校での勤務が2年目となり、昨年にも増して、皆さんと深く関わる機会に恵まれました。文化祭や体育祭といった行事を共に楽しみ、修学旅行で訪れた淡路島での時間、そして日々の何気ない交流など、どれも懐かしく、かけがえのない思い出です。皆さんにとって一番の思い出は何でしょうか。校長先生も一緒に踊った文化祭での職員ダンス動画はいかがでしたか。これは、私たち職員が皆さんの笑顔を見たいという思いの表れでもあります。

さて、人生はよくマラソンにたとえられますが、皆さんにとって本校での道のりはどのようなものでしたか。計画的に走り切った人、ときには休みながら進んだ人、スタートが遅れながらも最後にラストスパートをかけた人——それぞれが自分らしいペースで進んできたと思います。いずれにしても、卒業する70名全員が目標に向かって最後まで諦めずに走り抜いた仲間であることに変わりはありません。「諦めたらそこで試合終了」という誰かの名言を胸に、リポートに取り組んでいたある生徒の姿が今でも印象に残っています。一番努力したのはもちろん皆さん自身ですが、ゴールにたどり着くまで支え、応援してくれた人たちがへの感謝の気持ちも忘れないでください。

これからの人生でも、「あきらめない心」を大切にしながら、自分のペースで歩み続けてください。私たち職員一同、皆さんの未来を心から応援しています。

卒業生クラス写真



3A 坂下 千江子

「くるたのしい」は「苦楽しい」で、小説家・遠藤周作の造語です。小説を書くことは創造的な作業であり、その楽しさを追求していくと必ず生みの苦しみがつきまとう。しかし、投げ出すことなく取り組んだその先には、より深い楽しさが待っているということです。

答えが容易に見つからない苦しみの中であつても、自分で試行錯誤しながら結論にたどり着く、その過程で得られる楽しさが存在するということも教えてくれています。

これから歩む日々を、「くるたのしい」という視点でとらえてみませんか。自らの人生を唯一無二の作品として創造し、その過程で出会う苦しさと楽しさを、皆さんが一生の中で味わい尽くすことを願っています。

3B 榎本 有希子

ご卒業、おめでとうございます。詩人サム・レヴェンソンの言葉「魅力的な唇であるためには、親切な言葉を使いましょう。愛らしい瞳であるためには、他者の美質を見るようにしましょう。」

これは、外見の美しさというよりも、心のあり方を意味していると思います。自他共に大切にできる関係を築き、自分らしく活躍されることを応援しています。

3C 南 珠美

ご卒業おめでとうございます。卒業はゴールではなく、新しい人生の始まりです。きのくに青雲高校で積み重ねた力と経験をこれからの人生を生きていく自信に変えて、待ち構えている世界でもさらに成長していけることを期待しています。

皆さんの未来が輝かしいものでありますように心よりお祈りします。



3D 木村 雅紀

先日、母親が「貯人通帳」について話をしてくれました。貯金通帳はお金の出し入れを言いますが、貯人通帳は人との出逢いと別れを大切にしているのだよと。お金も通帳に入っている時は出し入れを管理していますが、人も現在、この瞬間を一緒に過ごすときは大切にしようねと教えてくれました。改めて、人との繋がりを大事にしたいなと思いました。これからのたくさんの出逢いを大切に。

ご卒業おめでとうございます。

4A 丸山 慶子

ご卒業おめでとうございます。本校は学びたい人を受け入れる学校ですが、卒業にかかった年数は人それぞれで、計画と継続が必要です。よく頑張りましたね。

また、勇気をもって新たな一歩を踏み出しましょう。卒業はゴールではなくスタートです。自分自身と向き合う時間をもって、心がワクワクすることから始めましょう。困難な中にもやりがいや楽しみを見つけられたらいいですね。

4B 吉村 晶子

ご卒業おめでとうございます。入学してから経験したこと感じたことを想い出しつつ新生活への不安と期待感でいっぱいのことと思います。そんなあなたの新しい門出にあたり「おめでとう」の言葉を贈ります。

これまで以上に、いろいろな人々と出会うことでしよう。どんな出会いも、ひとつとして無駄なものはありません。「人」を大切にできる、そんな大人になってください。

4C 神谷 良久

ご卒業、おめでとうございます。ここから新しいステージが始まります。さまざまな不安を感じながらも、自分自身に期待して一歩一歩進んでいってください。誰しも理想とする人生のモデルがあると思いますが、そのモデルが自身にとって正しいものであるとは限

りません。時には小さく、時には大きくモデルを修正しながら自分らしいと思える日々を送ってください。幸多きことをお祈りします。

4D 城山 千佳

二月の雪、三月の風、四月の雨が、輝ける五月をつくる」卒業生にいつも贈っている私の好きな言葉です。自学自習のシステムを自分の努力で乗り越え迎えた卒業は、皆さんの力になっています。自信をもってこれからの人生をたくましく前進していきましょう。

ご卒業おめでとうございます。本当によく頑張りましたね。皆さんの輝ける五月を楽しみにしています。

4E 上東 由季

ご卒業おめでとうございます。過去と他人を変えることはできませんが、自分と未来は変えることができますと言われます。思うようにいかないこともあるかもしれませんが、未来は現在が継続した結果です。今できることを精一杯することで夢や目標が実現するでしょう。

皆さんの未来は皆さんの力で変えることができます。今本当に自分のやるべきことに全力を注ぎ、新たなステージで頑張ってください。

4F 山口 準子

「春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら肅(つつし)む」(佐藤一斎)

春の風のような穏やかな態度で人に接し、秋の霜のような厳しい態度で自らを律していくという意味です。人は一人では生きていけません。誰かに支えられ、助けられています。自分を大切に、そして周りの人も大切にできる人になってください。困難なことがあっても、自分を律し乗り越えていくための努力をしていってほしいと思います。すべての積み重ねが財産となっていくはずですよ。力強く新しい一歩を踏み出してください。

副担任 上田 賢司

ご卒業おめでとうございます。先日、書家の武田双雲さんの個展に行きました。そこで出会ったとても心に残る言葉をみなさんへの餞に贈りたいと思います。「幸せは得るものではなく気づくもの」

誰しも、自分の不幸や不運を恨んだり嘆いたりしがちです。そんな時、この言葉を思い出してください。あなたのまわりには、まだ自分が気づいていない幸せが、きつとたくさんあるはずですよ。



卒業日迎



入学生、在校生の皆さんへ

4 A

私がこの学校で卒業を目指すうえで、最も大切だと思うスキルは、自分のペースをつくることです。このスキルは、特に通信制で学ぶために必要で、これから社会にでてからも役立つスキルだと思います。自分で長期的な計画を練り、己を律して計画を実行するというのは難しいものです。しかし、だからこそ、この学校で卒業を目指す皆さんに自分のペースをつくるというスキルを身につけてほしいと思います。

最後に、入学生、及び在校生の皆さん、卒業するには多くの課題があり大変ですが、どうか諦めず頑張ってください。同窓生として応援しています。



3年生になると、それまであまり考えずに避けていた進路の壁に直面しました。これからどうしたいのか分からなかったのです。私は自分の思いを人に伝えることが苦手でずっとひとり悩んでいましたが、自分で調べたり頑張ったり、母や先生が私の進路について親身になって考えてくれました。そのお陰で進路は決まり、道が開けました。自分の気持ちを言葉にして人に伝えることが苦手ではなくなったことも、この3年間で大きな成長だと思います。

先生方のサポートがあったこと、母が私にリポートをやったのかと聞き続けてくれたこと、今ではそれらがあったお陰で、3年で卒業するという目標を叶えることができました。そして私自身、辛いつきや心に余裕がなかったときもあつたけれど、諦めずに頑張ったことを褒めてやりたいです。

最後に、自分のペースでコツコツと諦めずに頑張っていれば、その努力に見合った結果が得られる、毎日の努力が大きな成長につながるのだと、この3年間で改めて気づくことができました。

高校入学前の私は、光の見えない暗闇を彷徨っているようでした。中学校には一度も通えず、人との関わりを避け、閉ざされた日々を過ごしていました。そんな自分が高校でやっていけるのか、不安ばかりが募っていました。勉学への懸念、友人関係の不安、そして卒業まで頑張り続けられるのか、考えるほどに恐れは大きくなりました。

しかし、入学後その不安は少しずつ薄れていきました。それは素晴らしい友人と出会えたからです。勇気を振り絞って自ら声をかけた瞬間、心臓が高鳴りました。今までの私なら決してできなかった一歩でした。その出会いが、私の世界を大きく変えました。友人の存在が私を明るくし、高校生活をより豊かなものへと導いてくれました。

そして多くの試練にも直面しましたが、先生方の支えのもと、一歩ずつ前へ進むことができました。その中で私は夢を見つけ、4月からはその実現に向け専門学校へ進学します。これからも学び続け、努力を惜しまず成長していきたいと思っています。

高校生活では多くの挑戦と失敗を経験しましたが、すべてが学びとなりました。一歩ずつ前へ進むことで努力が実を結び、夢へとつながることを実感しました。

きのくに青雲高校の友人や先生方には、大変お世話になりました。たくさんのお話を学ばせていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



卒業までの4年間は、想像以上に早く時が流れたように思います。自分のペースで学び進めることができない環境で自己管理能力が求められ、不安を抱えることも多かったのですが、それでも卒業を迎えることができたのは、先生方の支えのおかげです。

たくさん時間を自分と向き合いながら過ごしました。その時間を通して、目標のために努力を続ける大変さと大切さを学び、さらには、目標を実現する達成感を感じることができました。

学校での経験は、これからの人生の指針となりました。本当にありがとうございました。

学び

4 C



自分と向き合えた

3 A

3年生になると、それまであまり考えずに避けていた進路の壁に直面しました。これからどうしたいのか分からなかったのです。私は自分の思いを人に伝えることが苦手でずっとひとり悩んでいましたが、自分で調べたり頑張ったり、母や先生が私の進路について親身になって考えてくれました。そのお陰で進路は決まり、道が開けました。自分の気持ちを言葉にして人に伝えることが苦手ではなくなったことも、この3年間で大きな成長だと思います。

先生方のサポートがあったこと、母が私にリポートをやったのかと聞き続けてくれたこと、今ではそれらがあったお陰で、3年で卒業するという目標を叶えることができました。そして私自身、辛いつきや心に余裕がなかったときもあつたけれど、諦めずに頑張ったことを褒めてやりたいです。

最後に、自分のペースでコツコツと諦めずに頑張っていれば、その努力に見合った結果が得られる、毎日の努力が大きな成長につながるのだと、この3年間で改めて気づくことができました。

高校入学前の私は、光の見えない暗闇を彷徨っているようでした。中学校には一度も通えず、人との関わりを避け、閉ざされた日々を過ごしていました。そんな自分が高校でやっていけるのか、不安ばかりが募っていました。勉学への懸念、友人関係の不安、そして卒業まで頑張り続けられるのか、考えるほどに恐れは大きくなりました。

しかし、入学後その不安は少しずつ薄れていきました。それは素晴らしい友人と出会えたからです。勇気を振り絞って自ら声をかけた瞬間、心臓が高鳴りました。今までの私なら決してできなかった一歩でした。その出会いが、私の世界を大きく変えました。友人の存在が私を明るくし、高校生活をより豊かなものへと導いてくれました。

そして多くの試練にも直面しましたが、先生方の支えのもと、一歩ずつ前へ進むことができました。その中で私は夢を見つけ、4月からはその実現に向け専門学校へ進学します。これからも学び続け、努力を惜しまず成長していきたいと思っています。

高校生活では多くの挑戦と失敗を経験しましたが、すべてが学びとなりました。一歩ずつ前へ進むことで努力が実を結び、夢へとつながることを実感しました。

きのくに青雲高校の友人や先生方には、大変お世話になりました。たくさんのお話を学ばせていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

一歩ずつ

3 C

卒業生生徒表彰

卒業証書授与式の後、「全国高等学校通信制制教育研究会会長賞」等の表彰を行い、7名の卒業生が受賞しました。

はなむけの行事

卒業式閉式後、体育館では、はなむけの行事が開催されました。和太鼓部の演奏と思い出の動画が上映され、卒業生の門出をお祝いしました。

また、生徒会執行部と卒業生が協働で作成した「桜の木」フォトスポットが設置され、多くの卒業生によって記念撮影が行われました。

進路状況

【進学】

近年の大学入試は、「学力の三要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性）」がより重視され、以前のように入試区分によって人物重視、学力重視と偏ることなく、バランスよく評価する入試となつていきます。これからの入試は、単に「知識・技能」のみにとどまらず、与えられた複数の資料やデータを分析し、自身の知識を駆使し、考察していく能力が必要で、目まぐるしく変化する現代社会に対応するため、自ら問題を発見し、他者と協力して解決していくための資質や能力が求められています。

従って、これからの入試を乗り越えていくには、知識を詰め込む学習のみでは、対応しきれません。読解力、理解力、分析力、判断力などが求められ、これらを鍛えるには、日々の継続的な努力を積み重ねることが必要不可欠です。例えば、日頃から文章に触れ、その内容を要約する、筆者の考えをまとめる、自分自身の感想を書く、また、新聞を読んだり、時事ニュースに耳を傾けたりするなど、このようなことを習慣化する必要があります。日々の学習と並行して地道に取り組んでいくことで、知らず知らずのうちに力が養われる領域のもので、

また、志望校を絞り込むにあたり、将来何をしたいのかを明確化

しておく必要があります。志望校を決めなければならぬときになつてから考え出してもなかなか決断できないものです。早い時期から、自身の興味関心、将来の目標を常日頃から追求し続け、オープンキャンパスやインターネット等で多くの情報を収集し、じっくりと志望校選びに向き合うことが重要です。

また、多種多様化・複雑化する入試形態に対し、出願条件や受験科目を早い時期（高1・2年）に確認し、学習計画を立てていくことも忘れてはなりません。今年度、本校の合格状況は表の通りで、昨年同時期とほぼ同じぐらいです。

進路指導部では、年に2回行っている進路説明会（6月と9月）や毎月発行する「進路だより」で入試の概要や出願手続きなどについての情報提供を行っています。また、進路相談に来た生徒にはより詳細な説明を行っています。加えて、希望者には進研模試も実施しています。来年度以降もさらに情報提供に努めていきますので、気軽に相談に来てください。

【就職】

今年度も例年通りの日程で高卒求人は進められ、現在、内定者は3名で、就職活動中の生徒も何人かいます。今年度の求人数は昨年以上に増加傾向が強く、指定求人については昨年度の17社26人に対し、今年度は23社41人と、大幅に増加しました。しかし、求人数は十分であっても生徒がどの地域のどんな職種を希望するか、また、どの時期で就職活動を始めるかによつては、非常に厳しい活動を余儀なくされるケースも珍しくはありません。更には、条件の良い企業には応募者も多くなり、競争率が高くなりがちであることも想定し

ておこなうはなりません。

就職活動は、企業と生徒の巡り合うタイミングもあり、活動時期が早いから良い、遅いから悪いとは一概に言えません。しかし、基本的には、早い時期ほど求人企業数が多いのは当然で、8月・9月に就職活動に取り組むことが理想です。遅くとも年を越さず内定を取りたいところです。逆に言えば、年が明けての就職活動となると、生徒の希望にマッチした応募可能企業は極端に減っています。従って、学習活動も「履修科目の第1単位目を合格しておく」という調査書発行条件を1学期中には満たしておくことが鍵と言えます。本校では、求人情報を掲示して

提供し、就職希望者には個別対応を行っています。また、就職指導員によるアドバイザーや直接面談に加え、応募先を決定する前には「応募前職場見学」に行くなど、企業とのミスマッチを防ぐ配慮をしながら、応募に向けての手続きを進めています。進学同様、就職希望者に対しても進路説明会を年に2回実施し、一般求人と高卒求人の違いや応募手順、面接のポイントなどの説明に取り組んでいます。入社試験前には、面接指導を個別に複数回実施しています。就職は景気動向の影響を受けやすく、年によって状況が変化します。令和7年度も新しい情報の提供に努めていきます。

| 進学の合格状況 | | 入試方法 |
|-------------|--|-------|
| 大学 | 和歌山大学 システム工学部 | 一般試験 |
| | 大阪経済法科大学 法学部 法律学科 | 一般試験 |
| | 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻 | 学校推薦型 |
| | 桃山学院大学 法学部 法律学科 | 学校推薦型 |
| | 桃山学院大学 社会学部 社会学科 | 総合選抜型 |
| | 四天王寺大学 経営学部 経営学科 企業経営専攻 | 総合選抜型 |
| | 東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科 | 総合選抜型 |
| | 大手前大学 現代社会学部 現代社会学科 | 一般試験 |
| | 近畿大学 生物理工学部 食品安全工学科 | 一般試験 |
| | 近畿大学 理工学部 理学科 物理学コース | 一般試験 |
| 近畿職業能力開発大学校 | 電子情報技術科 学校推薦型 | |
| 短大 | 大阪国際大学短期大学部 ライフデザイン学科 観光・英語コース | 総合選抜型 |
| 専門学校 | 伊勢理容美容専門学校 美容科 | 総合選抜型 |
| | 伊勢理容美容専門学校 理容科 | 学校推薦型 |
| | 大原簿記法律&美容製菓専門学校 和歌山校 ホテルコース | 自己推薦型 |
| | 大原簿記法律&美容製菓専門学校 和歌山校 国家公務員初級レベルコース | 総合選抜型 |
| | 大原簿記法律&美容製菓専門学校 和歌山校 事務・経理職専攻コース | 総合選抜型 |
| | 上田女子服飾専門学校 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース | 総合選抜型 |
| | 和歌山県歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科 | 学校推薦型 |
| | 大阪ベルエビリティ&ブライダル専門学校 トータルビューティ科 ネイリストコース | 総合選抜型 |
| | 和歌山県立和歌山産業技術専門学校 理容科 | 一般試験 |
| | OCA大阪デザイン&テクノロジー専門学校 ゲームグラフィック&キャラクター専攻 | 総合選抜型 |
| | 大阪 ECO 動物海洋専門学校 ドッグトレーナー専攻 | 総合選抜型 |
| | 専門学校大阪デザイナー・アカデミー アニメーション学科 | 総合選抜型 |
| | 和歌山コンピュータビジネス専門学校 IT科 システムエンジニアコース | 総合選抜型 |
| | 和歌山コンピュータビジネス専門学校 IT科 ITエキスパートコース | 総合選抜型 |
| | 和歌山コンピュータビジネス専門学校 IT科 ITエキスパートコース | 一般試験 |
| 就職の内定状況 | | 求人種類 |
| 企業 | 株式会社 松源 (販売業務) | 高卒求人 |
| | 株式会社 カワ (パン製造) | 高卒求人 |
| | 株式会社 湊組 (現業職) | 高卒求人 |

※進路状況は令和7年3月9日現在です。

令和7年度当初の日程

(時間はあくまでも予定です)

| 日 | 行事 | 健康診断関係 (変更になる場合もあります) |
|----------|--|--|
| 4月6日(日) | 在校生登校・ホームルーム (2・3年生 10:00～、4年生 9:00～) 教科書・学習書受取り (11:00～13:00) ※3月に受講指導を受けていない場合は、担任にあらかじめ相談してください。 | 身体測定、眼科健診、内科健診 (在校生全員、9:00～予定) [内科・眼科健診事前調査]を持参してください。 |
| 4月13日(日) | 入学式 受講指導、教科書・学習書購入申込み (入学生) ※在校生は登校する日ではありません。 | 胸部X線・心電図 (1年生、入学式後) |
| 4月14日(月) | 受講指導、教科書・学習書購入申込み (入学生) | |
| 4月15日(火) | 受講指導、教科書・学習書購入申込み (入学生) | |
| 4月18日(金) | 入学生教科書・学習書受取り (14:00～15:30) | |
| 4月20日(日) | 入学生オリエンテーション、ホームルーム 特別スクーリング、対面式・クラブ紹介 教科書・学習書受取り予備日 (9:50～11:00) ※日程・時間割は在校生には4月6日、入学生には4月13日に配布します。 | 身体測定、眼科健診、内科健診 (入学生、13:10～予定) [内科・眼科健診事前調査]を持参してください。 尿検査 (8:30～12:00、玄関ホールに提出) |
| 4月27日(日) | 特別スクーリング ※日程・時間割は在校生には4月6日、入学生には4月13日に配布します。 | 尿検査 (8:30～12:00、玄関ホールに提出) 胸部X線・心電図 (未検者、11:50～12:45) |

◎5月からの日曜・月曜スクーリングの時間割は校報「陵雲」5月号で確認してください。

在籍期間のお知らせ

本校の在籍できる期間は最長で8年度間です。平成30年度入学生は、令和7年度末で卒業できない場合は除籍になります。期間中に卒業できるように努力しましょう。

クラブ活動をとおして
学校生活を充実させよう

今までクラブ登録をしていなかった人も、本年度はクラブ活動に参加してみませんか。
活動の中での新しい出会いや経験を通じて、充実した学校生活を送りましょう。

令和7年度Bコース(平日)第1回スクーリングについて
(暮らしに役立つ書)

第1回スクーリング

- 1班 4月8日(火) 13:30～15:30
- 2班 4月15日(火) 13:30～15:30
- 3班 4月17日(木) 13:30～15:30
- 4班 4月14日(月) 10:00～12:00
- 5班 4月22日(火) 13:30～15:30
- 6班 4月25日(金) 13:30～15:30

定期健康診断について

全員、健康診断を受けましょう。

※同封の「ほけんだより」をよく読みましょう。

◎特に、卒業予定者は進学・就職先から健康診断結果の提出を求められる場合がありますので、必ず健康診断を受けましょう。

日本スポーツ振興センター加入について

日本スポーツ振興センター(災害共済掛金)はスクーリング、学校行事等で負傷した際、医療費等が給付されます。

本校においては、全員加入となっています。
受講指導の日に、申込書に249円を添えて(おつりのいらないように)事務室まで申し込んでください。

登校時には必ず「生徒証明書」を携帯しましょう。
「生徒証明書」の有効期限は1年度間です。
4月より新年度の「生徒証明書」が必要となります。

きのくに青雲高校生以外

学校敷地内立入禁止



学校敷地内及び学校付近は
喫煙できません。

特に学校付近での喫煙は、
近隣住民の皆さんに迷惑となります。



自転車に乗るときは安全のために
ヘルメットをかぶりましょう!

事故の被害を軽減することができます。
ヘルメットは、正しく着用しましょう!

